



VOL 19

2009年1月号

発行 2008年12月31日

日本山岳会 山岳地理クラブ

URL www.jac.or.jp/doukoukai/

2008年を振り返って 2009年をみつめて

代表 北野 忠彦

昨年1月号AGCレポート(6号)をみると、2008年は会報を定期的に出す、読図(山)行を組織的に行うが主要目標とされており、そのほか、古道を歩く、懇親山行を行うなどの意見もありましたが、会報の発行は担当者の方々の努力で順調に進んでおり、読図山行も行われてきました。

AGCレポートも2009年1月号で通算19号になります。当面の中心課題である読図研修(山行)報告のほか、個人山行報告、独自の研究報告など、随時報告が寄せられ、幅広いレポートに育ちつつあります。なかでも「中央分水嶺踏査」報告をまとめた特別号は、心に残る報告集になったものと思います。読図研修についてふりかえってみると、天候不良で中止又は延期になった場合もありましたが、1月19日の奥武蔵・大高山付近、2月16日の三浦半島、3月22日の道志三山塊の鶴島御前とその周辺、4月20日の奥武蔵・子の権現、9月27日の大菩薩南西部のキリガ尾根と恩若の峰と5回を数え、このほかに、10月18-19日の須坂基線網探索が行われました。これらの山行については、いずれもレポートに報告がありますが、それぞれ貴重な経験が得られたことでしょう。しかし参加者がやや固定化する傾向がみられ、いろいろ事情があるでしょうが、広い範囲の会員の参加をお願いします。なお、須坂基線については、東西基線と。雁田山、髯山増大点のみの調査であったので、今回行かなかった井上山と、基線網北端の根子岳には近いうちには是非行ってみたいものです。

2008年の活動で特記すべきことは、JAC図書室に保管されていた旧版地図約3200枚の整理とリスト化です。作業時間の関係で参加できない会員が多かったものの、整理が完了し10月1日にはJAC会員に広く利用できるようになるきっかけを

作ったものと自負しています。地形図全図譜が揃っているわけではありませんが、うまく当たれば、たとえば自分が住んでいるところが、明治の頃はどうかだったかなど、面白い資料として利用可能です。

12月6日の年次晩餐会では、机半分というささやかなものではありましたが、AGCとして「AGCレポート」を中心に、相模野基線網、須坂基線網などの現地調査状況と図譜の展示を行いました。新入会員に対するオリエンテーションを含め、このような機会をとらえてAGCの名を広めることが、さまざまなキャリア会員をふやし、会がより面白く、楽しくなるきっかけになることと思います

これからの活動の大きな柱になりそうな課題として、登山道の現状調査活動があります。その概要は、国土地理院測図部基本情報課から、地形図に記載されている登山道と現況に違いがある場合に、情報が地理院に伝えられれば、地図を修正する材料とするというもので、JACに検討依頼がきたものです。これが宮崎総務担当理事からAGCに伝えられ、国土地理院担当者と意見交換しました。具体的には山と溪谷社が選定した全国にある地域百名山を対象に、GPSを併用して、登山情報を報告するというもので、地理院は4月から実施したい意向を示しました。

AGCとしても調査の価値があると考え、さっそく1月10日に奥武蔵・伊豆ガ岳で予備調査を行うことになっています。その結果を踏まえ、順次 関東百名山で調査を行いたいと思いますので、「中央分水嶺踏査」以来の活動と位置づけ、宜しくご参加ください

参考までに、国土地理院の登山道調査の取得基準を付記します(次頁参照)

連載 ゆにーく 標識&標石 営林署の標石



営林署境界標石(軽井沢)

山で遭遇する標石の中に「山」の一文字があれば、それは営林署関係の標石である。その中には三角点と図根点があり、何も彫られていなければ境界標石である。その数は圧倒的に多く、御影石製とコンクリート製があり、標石番号も刻印されているが、標石の幅、長さ、材質等がバラバラである。その眼で見れば山の中で一番遭遇する標石なのだが、その現実には意外にも知られていない。

(遠山記)

地形図記載の登山道をより正確に！

国土地理院では登山者の安全性向上の観点から、日本山岳会と連携して主要な登山道に関する変化情報を交換することにより、地形図などに記されている登山道を早期に更新できるようなシステムの構築を計画している。日本山岳会としても前向きにこの問題に取り組む姿勢で検討している段階であり、わが山岳地理クラブとしても、全面的に協力体制をとる決意が北野代表からも提示されている。近いうちに具体的な方針が明確になることと思うが、ここで国土地理院から登山道調査の基準をどう考えているのか参考資料として掲げ、検討材料としたい

参行資料

登山道調査の取得基準(案)

国土地理院 測図部基本情報調査課 資料より
地形図等の取得基準

1.0m未満(徒歩道)

徒歩道とは、道路幅 1.0m未満の道路をいし、次のいずれかを満たすものとする

- (1) 登山・観光・リクリエーション等のため頻繁に利用されるもの
- (2) 集落相互を結び、必要な交通路となっているもの
- (3) 主要な地点へ到達するもの

登山道の取得基準

調査対象とする登山道の調査対象を絞り込むため、現況、難易度により下記のとおりランク分けを行う。

なお A、B、C のランク分けについては地形図に未記入の登山道を対象とし、D については地形図に表示されている登山道を対象とする。

A：特に問題ないと思われるため、現地で経路調査をして地形図に表示する。

B：曖昧な箇所があると思われるため、現地で経路調査をして地形図への表示・非表示を判断する。

C：明らかに上級コース又はヤブ道と思われるため、現地調査は行わず地形図にも非表示しない。

D：廃道・通行禁止・ヤブ道のため地形図から削除する。

ランク分けの目安となるコメント例

ランク	コメント例
A	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に頻繁に利用されている ・良く整備されている。比較的容易。案内板等が整備されている ・比較的短い時間で登ることができる
B	<ul style="list-style-type: none"> ・一部溪流を渡河する健脚者コース ・一部クサリ場(ロープ、階段)等はあるが、全体的に容易に通れる ・エスケープ(非常用)ルートとなっている
C	<ul style="list-style-type: none"> ・足が棘(すく)みそう。下草がのび放題。クサリ場の連続 ・あまり歩いた形跡がない。ザイルを持参した方が安全 ・ベテラン向けコース。上級者コース。修験者コース
D	<ul style="list-style-type: none"> ・廃道。崩壊して通行不可能

行きましょう

地形図調査のテストと読図研修上級編

正丸峠・伊豆ヶ岳周辺域 平成 21 年 1 月 10 日(土)

西武鉄道秩父線正丸駅 午前 9 時集合

人数により最大 3 班に分け、各登山ルートの現実を読図しながら地形図に書き込むと同時に、GPS 持参者によって GPS で軌跡を取得、国土地理院からの要請に応えられるかどうかのテストです。我々がやった結果が国土地理院に報告され、日本山岳会としても対応をどうするか判断材料になると思います。これは読図研修の上級編でもあります。我々の活動が道迷い防止と遭難対策に、大きく寄与する一歩になる筈です。ぜひ御参加、ご協力ください。

ルート 1: 正丸駅--大蔵山---正丸峠--伊豆ヶ岳

ルート 2: 正丸駅--大蔵山--亀岩-山伏峠--伊豆ヶ岳

ルート 3: 正丸峠--旧正丸峠--川越山(766.3m)---伊豆ヶ岳

一度、伊豆ヶ岳山頂に集合し、帰路は伊豆ヶ岳--五輪山--なきなき坂--亀岩分岐--大蔵山--正丸駅に全員で戻ります。この帰路も調査対象域です。

奥武蔵最大の人気ポイント周辺なのに、地形図上の登山ルート、記号位置等が記載されていなかったり、違ったりしています。冬季ですのでアイゼンを忘れずに。意外と急斜面が多く、忘れずと下山時に大変苦労します。GPS と無線機をお持ちの方、ご協力ください。ヘッドランプも忘れずに。

ルート詳細図は、1 月 7 日の例会時に配布、ルートと調査方法について説明いたします。例会に参加できない方は、当日に資料をお渡しします。(企画立案 遠山元信)

例会の議事録

12 月定例会記録

2008 年 12 月 3 日(水) 18:55:20:05 於 JAC 集会室 B

出席者 15 名(北野、平野、近藤、遠山、鶴田(泰)、川村、寺田、寺田、高橋、羽鳥、大西、川口、長谷川、加藤、今井(順不同))

内容: 新規 AGC 入会の加藤健樹さん紹介。(北野) 国土地理院からの登山道調査協力要請について 2 度目の打ち合わせに宮崎理事、北野代表が出席した。地域百名山対象の調査として進める見込みである。(北野) 12 月 14 日(日)に定例の地図読み山行を行う。青梅線軍畑駅 9 時 30 分集合(立川駅 8 時 47 分発が便利)。コースは軍畑駅西方から北西に向かうヤナクボ沢から惣岳山を目指し、帰路は沢右岸に沿う稜線を予定。(北野) 1 月 10 日(土)に国土地理院関係 100 名山調査協力の演習をかねて関東 100 名山である埼玉県伊豆ヶ岳山行を計画する。GPS、アマチュア無線機、2 万 5 千分の 1 地図を標準装備とする。(北野、遠山) 12 月に行われる晩餐会の展示物は、AGC レポートの分水嶺特集号のほか、活動状況として相模基線、須坂基線の地図等を展示する予定。また、分水嶺踏査報告書の販売も行う。(平野) 終了後は「鯨の家」にて懇親会(10 名)

以上 (記録:今井)

お知らせ

次回の例会

日時 2009 年 1 月 7 日(水) 18:30 から 於:山岳会 ルーム

テーマ:山行報告(読図山行)、2009 年計画 ほか

AGC レポート vol-19 2008 年 12 月 31 日発行
発行:日本山岳会・山岳地理クラブ(代表:北野忠彦)
〒102-0081 東京都千代田区四番町 5-4 日本山岳会 気付
TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441
編集担当:近藤 E-mail:hikarikon@nifty.com